

「トントンまなびたい」 指導スタンダード 「沢歩き(前谷沢)バージョン」

1 ねらい

- ・自分の力で最後まで頑張る。 ・友達と仲良く活動する。 ・ビシャビシャになって遊ぶ。
- ・自然の中で擬音語を見付ける。「さらさら・そよそよ・つるつる・ぬるぬる・等」
- ・五感を生かして、おもしろい、きれい、ふしぎをたくさん見付ける。

2 展開

※場所(森に表示された看板付近)ごとに分類

時間	○数字…子供の活動(予想される子供の姿) ●追加指導事項	・指導者の支援 ◇安全配慮事項
5分	セーフティーク(入水前に) 学ぶゾーン ① 沢の歩き方を知る。 →石の上ではなく、なるべく水の中を歩く。	◇沢での配慮事項を再確認する。「走らない、害のある生き物に気を付ける等」 ・水の流れていると藻が生えず滑らないことを伝える。
5分	1 沢について知る。(水が冷たい) 感じるゾーン ① 水の流れる音を聞こう。→「どんな音が聞こえるかな？」 ② 沢水の冷たさを感じる。→10秒水につけよう。 (手→尻→腹等) ● ヨシナ(山菜)を知る。→シャキとした歯応え・ぬるぬる食感。	・森とは違う、水の流れる音を感じる。 ・水が冷たいのでできる所まで挑戦する。 ◇心臓に遠い所から少しずつ水に慣れる。
10分	2 岩の滑り台で遊ぶ。生き物を探す。 遊ぶ・発見ゾーン ① 岩の滑り台で遊ぶ。 ② 岩の滑り台の下の大きな隠れ家にいる、大きなイワナを探す。 ③ 石の下にいるサンショウウオを探す。 ● 石の下にいるイサゴ虫(トビケラの幼虫)を探す。 ※砂や石でミノムシのような巣をつくる ● カエルを探す【ヒキガエル・ツチガエル】	・生き物は最後に水に返す。命を感じる。 ・藻が生えている部分が滑りやすい。 ◇転倒する子供用に指導者が下で待機。 ・サンショウウオ・イサゴ虫はきれいな水を好む。水が少なく、流れが遅い場所の石の下を探す。 ・有毒なものは、触ったら水で手を洗う。
10分	3 水に浸かって遊ぶ。笹船で遊ぶ。 遊ぶゾーン ① お風呂(大きなよども)、ウォーターベッド(岩の上のよども)で水に浸かって遊ぶ。 ② 木をまたいだり、くぐったりしながら進む。 ● チシマザサを使用して笹船を作り、流して遊ぶ。 ● 水遊び体験のみの場合は、3番で引き返す。	・お風呂は数名で入浴可能、ウォーターベッドでは頭も水につけてみる。 ◇転倒したり、頭部をぶつけたりすることがないよう、ゆっくり進む。 ◇下りは危険なので、ゆっくり歩く。
5分	4 クリの木の根っこを観察後、パチリ。 学ぶ・思い出ゾーン ① クリの木の根っこを観察し、土の中での根っこの生え方を学ぶ。 ② クリの木の根っこに並び、みんなで記念撮影。 ● 大きなよどもにいるイワナを探す	・根っこの周囲の土は水で流された。 ◇根っこの部分は、滑りやすい。 ・よどみの奥をよく観察する。
10分	5 お絵かき体験をする。 芸術ゾーン ① 粘土質の石で、黒い岩にお絵かきをする。 ● 前後で時間差がある場合に調整する場所。お絵かきをしたり、サンショウウオを探したりする。	・石が鉛筆、水は消しゴム(水で絵を消すことができる)になる。 ◇分かれ道に気を付ける。
5分	6 沢で一番の難所を超える。 挑戦ゾーン ① 狭く、急な坂を上る。 ② 木のトンネルをくぐる。 ● 左手の「立山地獄(水がしみ出た赤い岩)」を見る。	◇疲れがたまる時間帯。ゆっくり、励まし合いながら進むようにする。
5分	7 みんなでゴールの喜びを分かち合う。 喜びゾーン ① 7番看板を見つけ、ゴールが近いことをみんなに知らせる。 ② ゴールした喜びを、叫んで表現したり、ハイタッチで共有したりする。	・子供どうしの声かけを大切にする。 ・子供の頑張りを大いに認める。 ◇道には車が通るので、終了した子供の安全管理を行う。
	帰り道にて 学ぶゾーン ● 足跡スタンプで楽しむ。→長靴を抜き(靴下ははいたまま)、道に足跡を付けて楽しむ。 ● 草笛や葉鉄砲で遊ぶ。 ● 「ヤッホ」ポイント。沢向こうの山に向かって叫ぶ。	・車の通行を把握して、子供に伝える。 ・一列になって歩く。

沢歩き (前谷)

指導スタンダードマップ



はじめの会

- ◇前谷沢の紹介
 - ・生き物の話
 - ・目印看板を紹介 (写真を見せながら)
- ◇がんばること
 - ・自分の力で最後までがんばる (泣いてもいい)
 - ・仲間と仲良く遊ぶ
 - ・ビシャビシャになって遊ぶ
- ◇約束
 - ・指導者の前には行かない
 - ・学びを後ろのお友達に伝えよう
- ◇セーフティトーク
 - ・転び方の実践 (前・後ろ) ⇒『頭』を守る
 - ・坂道では手を使うこと
 - ・石の上ではなく水中を歩く。
 - ・ハチ・マダニ等の害虫について (なるべく肌を露出しない)
 - ・服装・靴の確認

バリエーション

指導スタンダード以外にも、いろいろなバリエーションが!
何度も何度も「前谷沢を楽しもう」!

- ◇生き物をさがす
- ◇葉っぱをさがす
- ◇石の形をさがす
- ◇遊び方をさがす
- ◇色をさがす
- ◇みんなで探検
- ◇グループで探検
- ◇ペアで探検
- ◇1人で探検

◇部分を選択して探検 **新しい発見がいっぱい!**

振り返り

どんな発見をしたかな? どんな思いになったかな?

- ・見つけたことをたくさん話そう。
- ・今はどんな気持ちかな。
- ・約束は守れたかな。
- ・自分ががんばったこと、お友達と一緒にがんばったことをお互いに褒めあおう。
- ・自然に遊んでもらえたこと、連れて来てくれた先生、一緒に楽しく遊んだ仲間に「ありがとう」
- ・また来てね

子供は「発見の王様」

- ◇見つけたことをその場で具体的にほめてあげよう!
指導者「多くの石がある中で、サンショウウオをよく見つけたね」

子供は「感動の王様」

- ◇子供が感動したことを共感しよう! 身近な物に置き換えても!
子供「この木の根っこの形がとてもおもしろいな」
指導者「本当だ、おもしろいな。〇〇みたいだね」

子供は「不思議の王様」

- ◇子供の疑問を大切にしよう!
→ 年齢や理解力にあわせて言葉で、内容を伝えよう!
子供「どうしてこんなに水が冷たいのかな?」
指導者「山だから雪がとけた冷たい水が流れているんだよ」
→ 命の大切さで伝えよう!
子供「どうして木の根っこはこんな形をしているのだろう?」
指導者「根っこさんたちが、助け合って木を守っているんだよ」

「大人は子供の共感王」になろう!